

土浦市立博物館 第36回特別展 色川三中と幕末の常総

3月21日(土)～
5月6日(水)

商

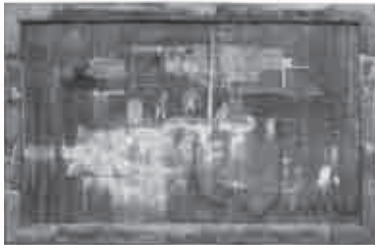
売と学問を両立した人—色川三中(1801～1855)を一言で表現すると、このようになります。江戸時代後期の土浦に生まれた三中は、葉種屋や醤油醸造を営むかわら、常総地域や江戸の学者と交流をもち、国学を研究しました。過去を重んじ、知識を蓄え、多くの情報を集めることで、「次の世」を推しはかろうとしました。この展覧会は、混迷する幕末という時代を懸命に生き抜こうとした色川三中と、彼を生み育んだ「地域の力」に迫ります。

■展示構成

- I 色川三中とその周辺
- II 破産からの復活
- III 学問への志向
- IV 次の世を読みとく
- V 没後160年—三中の死とその後



新編常陸国誌
(当館所蔵)



色川三中奉納 醤油醸造絵馬
(笠間稲荷神社所蔵)

色川三中と幕末の常総

5月6日(水)

■記念講演会

①「宮本茶村と『安得虎子』—幕末期常総地域における知のネットワークをめぐって—」
とき／3月28日(土)
午後1時30分～3時

②「色川家の葉種業経営」
とき／4月12日(日) 午後1時30分～3時
ところ／博物館視聴覚ホール
講師／小森正明さん(宮内庁書陵部)
定員／70人(先着順)

③「色川三中をめぐる江戸と地域の文化人たち」
とき／4月25日(土) 午後1時30分～3時
ところ／亀城プラザ文化ホール
講師／宮地正人さん(東京大学名誉教授・元国立歴史民俗博物館長)
定員／300人(先着順)

※①～③とも事前の参加申込は不要、聴講無料。

■展示解説会「色川三中とゆかいな仲間」

とき／3月22日(日)、4月18日(土)、5月3日(日) 午後2時～3時
※予約不要、入館料が必要です。



色川三中肖像
(個人所蔵)

■土浦城ウォッチング

—三中ゆかりの史跡をめぐる
博物館学芸員の案内で、土浦市観光ボランティアガイドの方々とともに三中ゆかりの史跡を歩いて訪ねます。

とき／4月18日(土) 午前9時30分～正午
※市立博物館集合
定員／40人

参加費／100円(資料代)
申込方法／電話または直接
※3月21日(土)から受け付け

土浦市立博物館

【中央一丁目15-18 ☎824-2928】

休館日／毎週月曜日(5月4日を除く)、3月17日(火)～20日(金)は展示作業のため休館

無料開館日／4月5日(日)(土浦桜まつり協賛)

開館時間／午前9時～午後4時30分

入館料／一般…105円、小・中学生、高校生…50円
(20人以上の団体は一般…75円、小・中学生、高校生…30円)

◎毎週土曜日は小・中学生、高校生入館無料